

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響



2010年4月、常任指揮者に就任したカンブルラン。
美へのあくなき執念と音楽への大きな愛情で、
9年間にわたり読響の音を磨きあげてきました。

広島と長崎を訪れた時は、私たちと共に涙を流し、
東日本大震災の際には「愛と希望を与えるのが
音楽家の使命」と迷うことなく来日し、
私たちが勇気づけてくれました。
いつも誰とでも気さくに話し、笑顔を絶やさず、
周囲を明るくする太陽のようなマエストロ。

そして今年3月、いよいよ最後のプログラムに。
得意の「幻想交響曲」を華麗に響かせ、
私たちのひとつの旅が終わります。
9年間ありがとう、カンブルラン。

カンブルランとの華やかな旅の終わりに

シルヴァン・カンブルラン

読響常任指揮者

SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

ピエール=ロラン・エマール ピアノ

PIERRE-LAURENT AIMARD, Piano

ベルリオーズ：歌劇「ベアトリスとベネディクト」序曲

BERLIOZ: "Béatrice et Bénédict" Overture

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 作品37

BEETHOVEN: Piano Concerto No. 3 in C minor, op. 37

ベルリオーズ：幻想交響曲

作品14

BERLIOZ: Symphonie fantastique, op. 14

読売日本交響楽団 第215回 土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 215

2019 **3.23** (土) 14時 東京芸術劇場コンサートホール

Sat. 23rd Mar. 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500

読売日本交響楽団 第215回 日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 215

2019 **3.24** (日) 14時 東京芸術劇場コンサートホール

Sun. 24th Mar. 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協賛：NTTコミュニケーションズ株式会社(3/24)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)
<https://yomikyoku.or.jp/>

カンブルランの〈幻想〉、9年間の総仕上げ。



シルヴァン・カンブルラン 読響常任指揮者
SYLVAIN CAMBRELING Conductor

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得ている。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデン・バーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を歴任。現在、クランクフォーラム・ウィーンの前首席客演指揮者、18年秋からハンブルク響の首席指揮者を務めている。17年11月には読響とメシアン「アッシジの聖フランチェスコ」を披露し、絶賛された。19年3月末で読響常任指揮者を退任し、4月から桂冠指揮者となる。

©読響

ひとつの時代が終わる。2010年から9年間、常任指揮者として読響を率いてきたカンブルランが、今回の演奏会で常任指揮者を“卒業”する。カンブルランは、以前の読響の特徴であったドイツ的で力強いサウンドに、色彩豊かなニュアンスと透明感を加え、「フランスの一流オケを想わせるようなカラフルで洗練されたサウンド」と評されるほどに読響の音を変えた。最終のプログラムは、そんな彼の9年間の音楽作りの総仕上げのような曲目となっている。

ベルリオーズの歌劇「ペアトリスとベネディクト」序曲で華やかに開幕し、続くベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番では、カンブルランと何度も共演を重ねてきた盟友で世界的ピアニストのピエール＝ロラン・エマールがソリストとして華を添える。エマールの鋭い解釈とカンブルランの卓越したセンスで、新たなベートーヴェンが生まれるだろう。

メインはベルリオーズの代表作「幻想交響曲」を披露。カンブルランは、この劇的な交響曲から鮮やかに生命感あふれる響きを引き出し、「舞踏会」や「断頭台への行進」などの場面を表情豊かに描く。終楽章「ワルプルギスの夜の夢」での妖怪や魔女たちが繰り広げる宴では、金管楽器が咆哮し、大太鼓や鐘などの打楽器も加わり、狂乱のクライマックスへと突き進む。このコンビが9年間培ってきた表現力が、全編を通して存分に発揮されるだろう。



©Marco Borggreve

ピエール＝ロラン・エマール ピアノ
PIERRE-LAURENT AIMARD Piano

従来の境界を飛び越えて世界中でクリエイティブな活動を続けている巨匠。メシアン国際コンクール優勝。10代でアンサンブル・アンテルコンタンボランの専属ピアニストに抜擢された。カーター、リゲティ、クルタークら作曲家と密接な関係を築いている。ラトル、サロネン、ナガノらの指揮で、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、シカゴ響などと共演。2008年から16年までオールドバラ音楽祭の芸術監督を務めた。現在、ロンドンのサウスバンクセンターのレジデント・アーティスト。ワーナー、グラモフォン、ペンタトーンなどと数多くの録音を行い、国際的な賞を多数受賞。

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) 学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。



ntt.com

NTT Communications
Transform. Transcend.

**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

想像を超えるスピードで進化するAIやビッグデータ、IoTの世界。今、求められているのは、
既成の枠組みや概念を取り払い、全てを変革する力。
私たちはその力を、スマートなICTソリューションで届けたい。
お客様の期待を超えて、
ビジネスの新しい未来をかなえるために。